

北区立施設一体型小中一貫校設置基本方針地域住民説明会

日 時：平成29年5月16日（火）午後7時00分～

質疑応答

○・・・

近所のマンションに住んでいるので、新校舎が今の公園のところにあり、眺望とか気になるんですけど、目の前に校舎が建っちゃうので、3階建ての。そこら辺の日射もわかれば。

○事務局

校舎のレイアウト、配置はここにありますがけれども、全体構想が決まった後に設計等に入っていきます。例えば階数ですがけれども、今標準的な学校の階数では4階の校舎が多いです。田端中学校が8階建ての校舎になりますが、そういう高い建物が建つとは考えていません。基本的にはほかの学校と同じように4階程度になるかと。

いろいろご心配な点があると思います。ご意見を伺いながら進めていくことになると思います。今はまだ、細かいところは決まっています。

○・・・

ほかの案はっていうのはありますか、建物の配置として。

○事務局

建物の配置につきましては、教育委員会の中で幾つか検討はしたのですがけれども、最終的にこの形で決定させていただきました。まず1番に考えられるのは、子どもたちの安全・安心を確保することということで、グラウンドと校舎が隣接し職員室等があって、子どもたちがきちんと見守れるということ重きを置きました。

四つ前後の校舎の配置の考え方を検討し、最終的にこの配置で。

○・・・

なぜ、私たちの見解を聞かないんですか。メリット・デメリットで検討してこうなりましたっていう資料というのは、なぜ展開されないのですか。

○事務局

さまざまな考え方が当然あると思うのですがけれども、やはり子どもたちの教育環境にかかわるような話になってしまうのですが、安全・安心、また学習環境を考えると、この配置が一番ベストというふうに考えています。

○・・・

私もこの近くの者なので、建物がそこに建つことがデメリットにしか思えない。なぜ今あるところにその建物を建てるというような発想が出てこなかったのか。今の公園を

潰してしまえば、その公園をいいと思って住んでいる人たちを置き去りにしているじゃないですか。どうしてそういう案が一切出てこないのか。

○事務局

申しわけございません、さきほど説明がもれていました。今回案をつくるに当たりまして、今までの北区の例で言いますと、仮移転先の学校を探してそこにつくるということをやってきました。

ところが、今回は神谷中学校の校庭、神谷公園を活用することで仮移転しないで、いながら新しい学校をつくることができます。仮移転するとどうしても3年間仮移転先で生活して、また戻ってくるというような形になりますので、子どもたちに大変負担がかかります。また教職員にも負担がかかる。そういった負担をかけないにはどうしたらいいかということで、それぞれ学校3校が学校運営を継続しながら校舎をここに建てる。先に校舎を建てて、校舎が完成したら3校が一つなるということで考えてます。

○・・・

何かもう建てる前提になっているのが、聞いていてすごい嫌だなと思ひまして、やはりそこに建てられることによって、どうしても周りのマンション、もしくは住宅の人たちが一番影響を受けそうなものにもかかわらず、なぜもう決まったっていうふうになっているのかが、まずちょっとわからないです。

これって、ここに工事を設置してこれから進めていきましょう、これからやっていきましょうという段階なのに、もう決めましたという言葉が出てくるのがまずおかしいかなって思っています。これは逆にどうなんですか。

○事務局

新たにこういう建物が建つということになると、大きく影響を受ける方が出るというのは認識はしております。ただ、ここを公園として残したままつくれるかというのと、それは難しい。ここを公園として残したままにするということは、学校が分散されてしまいます。そうすると小中一貫校として成り立たなくなってしまう。

神谷公園については、移転して北側につくるということになります。

○・・・

例えば、上に北運動公園の十分なスペースがありますが、逆にその新校舎のところに建物を建てずに校庭にしてとか、そういう案っていうのはないのですか。

○事務局

案といいますと、例えばここを校庭にして校舎をこちら側に建てるっていうのは……。

○・・・

北運動公園自体を潰すとか。

○事務局

北運動公園については、今回の計画の中では検討していませんので。

○・・・

なんで話が違っている……。

○事務局

北運動公園はスポーツ施設になっていますから、そこを潰してやる発想はないです。

○・・・

逆に言えば、ほかの案をまず検討中の中で知りたいなど。

○事務局

どういったケースがあるかということは、幾つかの配置案を、校舎のレイアウトですね、考えてこの形が一番ベストであるというふうに判断をして、示させていただいています。

○事務局

当然、近隣のマンションの方は、環境が大きく変わるだろうとは思っています。

○・・・

で、それに対してどう思っているのか。

○事務局

ここは、最終的には子どもたちの学校をつくるわけですので……。

○・・・

子どもたちのことじゃなくて、周りのマンションの人たちがどう思っているのかって
いう質問をしているんです。

○事務局

そこは、後はお話をしていく中で、よく配慮しながら建物をつくっていきたいという
ふうに思っています。

マンションの方々からすれば、公園に隣接する環境を買ったのになぜ校舎が立つんだ
ということになり、当然残してほしいという気持ちだと思います。

○・・・

マンションの目の前で公園が潰れれば、アンケートをとって住民中8割、9割以上の
方がそれは嫌だっというふうに思います。

○事務局

そうすると、その意見を踏まえて小中一貫校をつくれるかとなると、やっぱりそれは難しくなってしまう。

○・・・

それはモデル校でやったり、こういう事例の問題を幾つかやることになるんじゃないですか。なぜ最初からそういう発想になってしまうのかなっていうのが、ちょっとわからないので。

○事務局

そこは非常に難しいところだと思います。ただ、そこで学校、新たに建物を建てます、で例えばアンケートをとれば、多分住んでいる方からすれば、やっぱり皆さん反対っていう形になってしまう。

○・・・

多分そうだと思います。なので、そのためにも、だから幾つか折衷案というのがあるのかなと思っていて、なので幾つか案を示してほしい。そういう方法の中で、案をまずは知りたい。

○事務局

折衷案というお話なんですけれども、なかなか難しい。私どももいろいろ考えて建物の配置案が、最終的なご提案になるというふうに考えてさせていただいています。

当然、すぐ目の前に大きな建物が建つということになれば、いろいろと問題も生じてくるかもしれませんので、そこはご意見をいろいろ聞きながら、こういった形で、例えば4階建ての建物からいきなり建ち上がるのか、もしくはマンション側に面しては少し低くして、そういったお話は出てくるだろうというふうに考えています。

ただ、場所について、また一から戻って建物をどこにつくるかっていうふうにしてしまうと、多分なかなかこういった建物をつくるのが難しくなってしまうだろうと思います。公園の意見についてだと、いろんな方に聞けばいろんな案が出てくると思うんです。そうすると、その案を一つにまとめるというのは、非常に難しいのかなと。基本的には教育環境をつくる、子どもたちの一番いい環境を確認しながらという視点で、今回この方針を出させていただきました。

○・・・

反対するっていうふうにご認識されていて、もし反対されるとわかっているのであれば、何か考慮する、例えばそこに校舎を建てるときにどういうことが考慮できますかという、そういう具体的な案みたいなものはないんですか、現時点だと。

○事務局

現時点では、まだどういった具体的な建物になるかというのは、まだ来年以降の話に

なりますので。

○・・・

そこは来年以降の話になるのか。

○事務局

設計委託に入るのは、来年からになります。

○・・・

じゃあ、校舎が具体的に何階建てになるかとか、目の前がどういうふうな校舎の配置というんですかね、レイアウトになるっていうのは、じゃあ来年。

○事務局

来年になります。

○・・・

じゃあ、本年度やるその基本設計というんですか、全体構想っていうのは、そこら辺は特にやらずに、じゃあ具体的にもう少しこのレイアウトで行きますとかっていう、何かその違いがちょっとよくわからないんですけど。

○事務局

今年度決めるのは、例えば学校の骨組みですとか、あとは学校のレイアウト。小中一貫校ですので、例えば学年の区切りを6年3年とやっていました。で、いわゆるその小学校に相当する部分と中学校に相当する部分を分けるのではなくて、例えば4・3・2というような形で学年を割って、1年生から4年生までがこのスペースで、5年生から7年生までがこのスペースっていうような、その辺を全体構想の中で規模と建物のボリュームと配置など。

○・・・

じゃあ、具体的にはもう来年までは、そういうふうな具体的などといった校舎ができるかわからないから、わからないのでじゃあ何も対策とか、そういうのは検討しませんということですか、教育委員会としては。

○事務局

対策といいますと……。

○・・・

だから、こういう近隣住民に対しての対応ですよ。

○事務局

今年度は細かいところまでは、当然建物の設計も来年以降になりますので、その設計に入る前の段階でいろいろご意見をお聞きすること、場を設けたいと思っています。

○・・・

それを考慮して設計をしているという形になる。

○事務局

極力できる範囲でやっていきたいというふうに思っています。例えば、道路からすぐ建物が立ち上がるのではなくて、何メートルか下がりますとか、そういったところはお話の中でしていける。

○・・・

そういうのは今年度やって、具体的な設計を来年度やる。

○事務局

そうですね、どこまで今年度中に細かく何メートル下がるとか、そこまではちょっとできないんですけれども、そういうことは当然具体的な設計も、基本設計と実施設計というのに当たりますので、実施設計の段階でそういったことを踏まえて、固めていくという形になる。

○・・・

何となく気になっているのは、じゃあふたを開けて設計しました、8階建てでした、もうこれは決定ですとかって言われても、何か困っちゃうと思うんですよね。なので、そういった情報提供とか、そういったのがどういうタイミングで行われるのかとか、そういう例えばこういった何かそういう何というんですかね、質問会みたいな、そういったのっていうのは、どのくらいの頻度でどういうふうな形で行われるかというのが知りたいです。

○事務局

まだ、それまで個別には決めていませんので、当然必要だというふうには認識していますので、そういった機会を設けたときには、皆さんにはお知らせしていきたいというふうに考えています。

○・・・

今回お知らせが、私たちは北区ニュースで知りました。すごいびっくりして、一番影響を受ける周りの住民たちに、個別でこういうのをやります、説明しますというのはやったんですか。

○事務局

それは、きょうの説明会になります。

○・・・

それは、こういう場をやっていますので来てください、一番影響を受けるこの周りの建物を建てる決定をしたときに、別で今こういうことを考えています、こういうのをやろうとしていますということに対して、まずはちょっと説明をする。個別にちゃんと説明をしたのか、一方通知的に通知で発信して、来なかったらこの話を聞けないじゃないですか。うちの目の前に建物が建とうとしているのに、なぜそんなやり方をしたんですか。そういうところが不信感を生むんじゃないですか。

○事務局

もうすぐに設計に入るということではなく、このように全体構想を進めるという。

○・・・

逆にもうこうやって、こうやりますって出されているじゃないですか。こう設計をこうしますといっても、もうここでやりますと言われていた側とすれば、また次に考えますと言われても、さっき言ったとおり、次に出ているからもうこれでやります、もうここまでぱっとやっちゃいましたので、もう設計に戻りませんって言っているようにしか聞こえない。

だから、やり方がとても信用がならないです。この進め方自体が。

○事務局

今回、基本方針が決まったのは2月です。その後に、近隣の方、特にマンションの方は影響が大きいというふうには認識してましたので、基本方針についてご説明をしますというような働きかけはしていますがなかなか連絡が取れなくて、先週理事会のほうには説明に行かせていただきました。

○・・・

そのときにマンションの方って何て言っていました。

○事務局

個別には、この基本方針と同じ資料をお持ちして、説明させていただいて、きょういただいているようなご質問は出てこなかった。

○・・・

すみません、一体型一体型っておっしゃっているんですけど、まあ一体型は成果があるっていうのはわかるんですけど、分離型でもどうにか成果を上げようっていう構想にはならないんですか。

○事務局

実際に北区でやっているのは、事実上分離型の小中一貫教育ですので、さらにそれを、

いろいろ課題もありますので、施設一体型をつくることによって、小中一貫教育をさらに引き上げていくというのが基本方針です。

○・・・

分離型が北区で進めて・・・どおりということで、一体型を今回つくることで上がっていくというのが、理解できないというか、そういうふうになるのかなと不信感もあるようなところもあるんですけど。

○事務局

施設一体型にするには、先ほどの冒頭のようなスライドのご紹介をしたのですが。

○・・・

評価を総合しようと思うと、何か大きな成果ありとかっていう、その指標がすごく曖昧な気がする。スライドでサササササッって流れて行ったようなイメージしかなくて、大きな成果ってどんなものかなみたい。成果ありって具体性に欠けるような形はしたんですけども。ちなみに稲田小の土地は何になるんですか。

○事務局

それはまだ決まっています。

○・・・

稲田小のところと分離型でつくるということも、考えられてはいなかった。

○事務局

区としては神谷中サブファミリーを一つにすると考えていますので、稲田小も含めて施設一体型になります。ほかにはいかがでしょうか。

○・・・

マンションの理事会とかに説明したっていう話なんですけど、具体的にいつ、どういった方々に説明したのかっていうのは、ちょっと教えてほしいんですけど。こちらから確認して、特に別にアナウンスとかなかったと思うんですけどね。

○事務局

まず先ほども申し上げたように2月に方針を決めましたので、このご報告をしたのは3月ですね。マンションのほうに資料をお持ちして、ただ理事長さん、管理人さんにも会えなかった、2回くらい行ったんですけども会えなかったので、資料をお送りして説明をしたいということを3月に行いました。

その後4月以降、連絡が取れてですね、先週の土曜日に理事会があるということで、そこに来て説明をしてほしいということで、させていただきました。

ほかにはいかがでしょうか。

○・・・

すみません、プールは校舎の中にできるんですか。

○事務局

今まで改築してきているところは、例えば校舎の屋上とかにつくっています。設計はまだできていませんので、そのところはどうか分かりません。

○・・・

グラウンドは一つということで、今のより規模はちょっと大きく、今後なる。

○事務局

今、神谷中学校が非常に小さい敷地しかありませんので、その環境がかなり厳しいです。今回、小中一貫校にするのは、その教育環境をやっぱりよくしていきたいという思いがありますので、グラウンドも大きくなる。おおよそ敷地で1万5,000平米くらいには取れるというふうに考えています。

○・・・

改築する間は、稲田小学校のほうに中学校のほうも皆さん行くと。

○事務局

校舎が完成するまでは、それぞれの3校がそのまま学校運営をしていきます。校舎が完成したときに初めて、一つの小中一貫校として入って学校運営がスタートする形になります。

○・・・

今の話だと、要は新校舎は今あいている土地にしか建てられないということになりますよね。ということはやっぱり設計面とかがあってある程度縛りがかかっちゃいますよね。そうすると、やっぱり今後何か調整してくれるみたいなことを言ってましたけど、その調整する余地とかがないんじゃないじゃないですか。

○事務局

どこまでその余地があるかっていうのは、まだわかりません。

○・・・

今あいている土地に新たな建物を建てるってなると、かなり縛りがでてきちゃうと思うんですけど。

稲田小はそのまま残してそっちに移すとか、今既存の校舎を壊せば、設計面とかではかなり余裕が出ると思うんですけど。

○事務局

稲田小に神谷小学校を移すということでしょうか。

○・・・

要は、既存の校舎を残したまま新校舎を建てるとなると、かなり今のあいている土地にしか新校舎が建てられないから、そうすると途中で縛りが出ちゃいますよね。そうしたら、かなりマンションのほうになかったら絶対に出ると思うんです。

○・・・

ここに今後稲田小と神谷小と神谷中学校の生徒さんが全部入るくらいの器のものをつくるわけですよね。そうすると、やっぱりある程度の大きい建物が建つじゃないですか。それは、今あいている土地にしか建てられないということですね、今の説明ですと。

○・・・

そこのマンションに住んでいるので、ほんの目の前に建っちゃうのかなと、今の話だとそういうイメージになっちゃう。その前の話だと、いろいろちょっと融通してくれるみたいなことを言っていたけど、既存の建物は壊さないんだったら、そうするとある程度くらいしかないなというのは、わかるわけです。

仮設に移ったらいいんじゃないか。仮設に移ったっていいじゃないですか。仮設っていうのは、だから今稲田小学校のところちょっと行くとか、稲田小学校を壊さないんだったら。

○事務局

稲田小は決まっています。こちらの校舎に、小中一貫校に移った後はあきます。あいた後どうするかは、まだ決まっていないという状況です。

○・・・

今の神谷小を壊したって、神谷小の子がその間稲田小に行くとか、そういう融通がきけば、今あいている土地にだけしか新校舎が建てられませんというところが。

○事務局

稲田小がありつつ、そこのグラウンドに仮校舎をつくるということですよ。

○・・・

でも、そこら辺は詳しいことはわかりませんが、なでしこ小とかって今新しく建てているじゃないですか。それは今、昔あった仮設みたいなのは赤羽……。

○事務局

旧赤羽中です。

○ . . .

旧赤羽中とかに今行っているわけですよ。なでしこ小がここに移る距離と、正直言って神谷中がそこに移るってそんなに大差ないと思うんです。なので、赤羽岩淵中とかも仮設のときはこっちに来てましたよね。なので、新校舎には神谷小、神谷中の旧校舎は絶対新校舎が建つまで残しておかなきゃならないみたいな感じだと、既存の今のあいている土地にしか建てられないとなると、マンションの住人としては、そんなに融通が利かないじゃないかなと思うので。

○事務局

ここに真四角のぎりぎりの建物が建つんじゃないかっていう危惧ですよ。

○ . . .

私は、ふだん見ていて確かに神谷中とかも古いし、小っちゃいし、ちょっとかわいそうだなと思っていたので、子どもの教育環境のために建てかえてくれるならそれはとてもいいと思うんですけど、なにせよちょっと目の前過ぎると、今までせつかく公園だったというのが結構よかったわけです、環境としては。目の前にどんと大きい建物が建つとなると、やっぱり穏やかじゃないというか、もちろんその子どもたちのことを考えれば、そのほうがいいでしょうけど、マンションの住民としては……。かなり大きく変わってくるのでというところなんですけど。

なので、私が今言った新校舎が絶対あいている土地にしか建たないということが、まだ全然設計とか何も決まっていないということなので、今後そこら辺の問題。

○事務局

一つは、あいている公園とおっしゃることで、子どもたちの負担なんです。

○ . . .

要はコストとかもあるんですよ。引っ越しのコストとか。

○事務局

それもあります。

○ . . .

子どもたち、子どもたちといふとこっちは何も言えなくなっちゃうんですね。なのかもしれないけど、コストというのも税金だから、それはそんなに無駄遣いしないでできればいいんでしょうけど。

○事務局

一つは、仮移転先がないというのがああるんです。

○ . . .

その移転先がないと言っているのは、今例えばなでしこが今行っている場所があるじゃないですか。そこがあかないのであれば、あくまで待つとかっていう方法はないんですか。

○事務局

あそこは、跡地利活用検討委員会という中で、移転先ということではなくて、どういった活用をするかというのは決まっています。

○・・・

それとか、さっきあった稲田に例えば神谷小と稲田小と生徒数って、多分それぞれそんなに違わなくて、この規模もそんなに変わらなくて、当時建ったときと比べると、今の小学校って多分あいている部屋とかいっぱいあると思うんです。埋めようと思えば多分入れると思うんですよ。だから稲田小で、例えば神小の子どもたちを一定期間入れて、神小を潰してから、その工事をもっと広くできるようにとかっていう案は、今までなかったのかどうか。

で、それを検討したのかどうかっていう案は今ここに何も提示されてないので、それを最初の質問者の方はそういったものも全部出してくださいってことを、今ちょっと聞きたいんです。それは出せないんですか。ああ、ホームページでリンクはるでもいいですよ。

○事務局

一番最初にお話のあった稲田小なんですけれども、教室が足りなくてプレハブを建てています。あそこに神谷の子たちが入るとするのは無理です。子どもたちの教育環境を考えると、一時的に、プレハブを建てて神谷の子たちを移して、で神谷小を解体してそこに建てるというようなことは、やっぱり想定はできませんでした。

○・・・

その想定はできませんでしたっていう討論結果みたいなのは、一切何も提示されていないので、それが欲しいです。何でそれがだめだったのかという理由が知りたい。何を検討したのか、で、その結果だけぼんと出されても、ほかの案は何もないんですか。

○・・・

なので、今出せる。それは必ず後からホームページでもいいですから。今回のこの説明会のことをホームページで探したけど全然見つからなくて。

○事務局

説明会。一応ホームページにはアップはさせていただいて、あと近隣の方にはもちろんチラシを全戸配布はさせていただいています。

○・・・

で、掲示板に張ってあるチラシもあんま目立たないし、北区ニュースも小っちゃく書いてあって、なんだそれみたいになんか思ったので、そういったものをわかりやすく、ホームページのほうもわかりやすくリンクとか出せるようにちょっとしてほしくて、それを今出せというわけじゃなくて、それをこの後次の説明会とか、またありますよね。多分似たような質問がガンガン来ると思うんです。であれば、そういったのもちょっと準備していただきたいんです。

○・・・

すみません、素人考えで私なんか話聞いたとき、てっきり稲田に行くと思っていたんです、神小が。それだけ神小を整理してできるって素人考えだと真っ先にそれを考えましたよ、私も。稲田って人数少ないですよ、今は。

○事務局

今後ふえていくんです、稲田は。

○事務局

例えば、マンションが多く建つとか、そういうことだと思っただけなんです。東京都の教育委員会のほうで、推計値というのを出していますが、その数値を見るとふえる。

○・・・

10年間でふえると言っている、最短で6年後にスタートできるっていう調子ですよ。それまでにそんなにふえるんですか。

○事務局

東京都がそういう数値を出していただいています。

○・・・

だって、数値出すには根拠が必要じゃないですか。根拠はどこですか。

○事務局

すみません、それはちょっと確認してないので、その辺は確認しておきます。

○・・・

別にきょう何か議事録をとって根拠もちゃんとしていただけるんですか。

○事務局

概要は議事録として出させていただきます。

○・・・

それは音声か何か取って、整理してきちんと起こして。ICレコーダーで出しているだけですか。

○事務局

全部起こしてということはないですけども、概要としては出させていただきます。

○・・・

それに対して回答っていうのは、どうやって希望した全員に。それは一斉にホームページで見てくださいますかとかってなるんですね。

○事務局

質問についての回答ですか。

○・・・

最初に出たその案を出してくださいですか、そういった提案を、恐らく幾つか出ていたと思うんです。それに関して、そういったことに対してきちんと回答を……。

○事務局

回答をどういった形で出すか、すみません、ちょっとここでは即答できないので、持ち帰って検討……。

○・・・

検討と言われて、検討した結果すみませんって言われたらわからないですよ、どうするんですか。

○事務局

それは、わかるように考えます。

○・・・

さっきから考えますと言われても、最初は不信感しかない状況下で、少し考えますと言われても、全く説得力がないですよ。なので、ここできちんとかうやります、これは・・・しますって言っていただかないと、納得できません。あなたたちがそういう不信感しか生んでないじゃないですか。しかもホームページもわからないような小さいところ。それじゃあ納得できないじゃないですか。

小中一貫校自体をだめという気は全くなくて、うちの子どもがいるのでそれはいいことだとは思いますが、それをいきなり自分たちが住んでいる目の前にぼんと建ったら、それは、それと子どもの教育とはまた別じゃない、子どもがよくなりたいというのは。そこら辺ってわかっていたら。逆に自分たちのことを聞きたい。自分の家の目の前に大きな建物が建ったら、普通文句を言うじゃないですか。でも、他人事のように建ちますと言われているとしか思えなくて。

○事務局

本当に申しわけないですけど、今ここで今日いただいた質問について、皆さんに伝わるように検討させていただきます。

○・・・

検討してちゃんと結果をフィードバックしてほしいんですよ。ちゃんと検討した結果をまずちゃんときょう出たことをきちんと、まず全員に伝えて次の、これだけの質問が出ている中で前に進むということは、ちょっと何かないのかなと個人的には思っていて、そこは話し合いをして、その建てるためにもちゃんと。だって、このままだと言ったとおりここにしか建てられないというのは、その後の話でも答えが見えているとしか思えなくて、なのでちゃんとそういうことであれば、ちゃんとじゃあ別の案、こういうことが出てこのままだとこういう問題が起きるので、一旦潰すために今出たことでこれでどうですかというような案を持ってきていただきたい。

○事務局

具体的に建物は何階にしますとか、そういった具体的なところまでなかなか今の段階では出せません。

○・・・

中身出すのが遅いじゃないですか、住んでいる側からすれば。

○・・・

その建物が何階とかっていう話は、まだちょっと設計とかって先って・・・ですか。その前に大まかな開示、うちの活用するやつを今年度中に案を示したいので、そうするとそのさっき言った既存の建物を絶対に残さなきゃいけないのかっていうところの答えが、それも決めるかもしれないんですけど、そこがまだ変えられるのか。

○事務局

私たちが考えているのは、ここを使ってつくと。要するに……。

○・・・

だから、それは多分住んでいる人の今考えとかをなしに決めたことだと思います。でも、今第1回目の説明会でやっぱり住んでいる方からすれば、そこはどうにかならないのかというような意見が出ているわけですから、そこを持ち帰ってこういう意見が出ているから、今あいている土地にしか新校舎が建てられないというのはどうなのかっていうことにはならないんですよ。

○・・・

そこは何、そんなにせっぱ詰まって何か新しいのを、契約とかの問題もあると思うん

ですけど、でもあれは区の土地なんですよ。

せつかくまたここも建てかえするなら、もう何年間か延長してとかっていうふうにはならない。

○事務局

そういう形では検討してなかったんですけど、私たちの考え方は、子どもたちの負担、教職員の負担を減らすためには。

○・・・

それが、もちろん一番なのは、引っ越しとかもすごい大変ですからわかるんですけど、なんですけどあいている土地に建物を建てるのは想像できちゃうわけですよ。だって、今あそこの公園と神谷体育館を潰すといっても、それにこの3校が入る校舎を建てるわけですから、それなりに大きくなきゃだめじゃないですか。

○事務局

規模が大きくはなります。

○・・・

ですよ。そうしたら何となく、もうわかるわけですよ。じゃああそこを今あいているのを目いっぱい使わざるを得ないんじゃないかなとか。ということは、そうしたらマンションの住人も今後決定の段階で意見を聞いてくれると言ったけど、そんなに大幅に変えるとか、意見を出したって、もうこうなっちゃってますと言われるのがもう目に見えているんじゃないかなと思うんですけども。

○事務局

多分皆さんから出ている不満は……。

○・・・

不満っていうか……。

○事務局

不満というか、不信感と言いますか……。

○・・・

不信感というか、私の気持ちではないんですけど、結局やっぱり行政対住民だと、もう決定事項をのまざるを得ないとか、説明会とかいつもこうやってくれてても、もう決定事項に関して何か言っても、結局は変わらないんじゃないかなみたいな感じは受けちゃいます。

○・・・

・・・そこはもう覆らないんですか。そこのレイアウトというのは。

○事務局

レイアウトについては、これで。

○・・・

もう確定ですか。

○事務局

確定してます。これは、この基本方針を教育委員会で決め、総合教育会議というところで区長、教育委員で話しています。これですすめましょうという形になっています。

○・・・

なんでそこに住民の意向も合わせて、近隣の住民の代表者とかっていうのは、呼ばないものなんですか。

○事務局

こういった建物を建てる時、当然工事に入る前はいろいろと説明会をやると思うんですけども、建てる建てないというところから住民の方へ出席していただくというのはしていないです。意見がいろいろ出てきて、難しいってところだと思います。

○・・・

話聞いているとね、いっぱい言っている方の意味合いと、行政のやっぱり決め方の問題が随分議論をされてきていると思うんですよ。そういう意味である意味では再生基本法、教育基本法の方向性、随分前から一貫教育じゃなくてもね、一貫、地域一体型じゃなくても教育っていうそういう方向性というのは見えてきて、それに携わってきているんだけど、そういう方向性はみんなして結論づけているんだけど、これは住民には届いてないし、住民のほうもやっぱりそれに関心をもってなかったというような感じね。それで、実際によく見てみると、一番3校ある中で神谷が一番障害が入って行けるっていうふうに、しっかりそれが見てとれるわけ、ね。それで押して決めるのは神谷公園をっていうのは、もう見えているわけ。そうすると、前のマンションの人たちは一生懸命だよ。けど、マンションの人たちも、俺の前を買った借景が学校になっちゃうということでき、これ今一生懸命になっているわけ、ね。それは行政がそれくらいは押し切っちゃうという気持ちになるかどうか、ね。根本的にそこにあるわけよ。行政がいろんな意味で信頼を勝ち取って、住民の前段の好意からやっているかどうかっていうことが、やっぱり一生懸命生きている人たちが、今試しているんだよ。それしかないということになっちゃう。それを決めてしまったから、また建設の問題も含めて教育委員会が来たって答えられるわけないだろう、そうでしょう。

そういうことも含めてね、これは幾つも稲田もなでしこも、岩淵中学もみんな大変な思いをしてやっているんだよ、うん。それだから、そういう中でやっぱり理解を得な

がら進めることは、並大抵じゃないから。行政もその後何回かやるに当たって、説明できる人が来ていただかなかっただめだよ、はっきり言って。よろしくお願いします。

○事務局

ほかに質問はございますか。

○・・・

質問というよりも、もう一回聞きたいんですけど、最後もう一度検討というのは、できないんでしょうか、そもそもレイアウトから。

○事務局

レイアウトについては、基本方針として決定させていただいたということです。

○・・・

その仮設なんですけど、既存の校舎をどうするかというところは、どうなんですか。

○・・・

いながらだと、あいている土地しか使えないから、そうすると融通が利かないわけですよ。

○事務局

仮移転する場所が今現在ない。

○・・・

それは、今回のようにほかで頑張って探すとか、どこかに行きますとか、どこかに委託するとか、プレハブをつくるとか。

○事務局

プレハブを建てるとすると、ほかの神谷小学校とか、稲田小学校とかっていう話になるかと思うんですけど、そうするとやっぱり校庭もなくなってしまいますし。

○・・・

でも、校庭は別にその北運動場があれば、昼間結構あいていると思うんですけど。

○・・・

何か、やっぱりそういうまだ検討の余地があると思うんですけど。なのに、なんでそれが決定なのかっていうのが、よくわからない。

○・・・

基本計画は、もう建てるで決まりですよ。既存の建物だけはそのままにしますよって

いう、これは決まっている話ですか。既存の建物を残したまま新校舎を建てるとい
うのまでが決まっているってことですか。なので、融通が利きませんって言っているよ
うなものなんですか。

さっきのように、建てると調整もしてきたって。そういったことって、この後何を住
民に話していく。建物を建てていく上で、質疑をしますということ。

○事務局

最初も少しお話しましたがけれども、この建物の校舎の配置、例えばこれをどこまで下
げられるのか。

○・・・

建物を小さくしますと言うしかないってことですよね。そうすると子どものことを優
先したときに、子どもは広いほうがいい。もう逆じゃないですか。言っていることが矛
盾しているじゃないですか。

○事務局

あとはこの建物と、こちらの建物のボリュームを変えるところですね。

○・・・

ボリュームを変えて、新校舎のほうに、上のほうに別の小中、こっち側少しを持って
くるということですね。

○事務局

例えば、ここの教室を少し、今基本的には体育館、管理下の運動場とかというのを考
えていますけれども、ここに例えば特別教室……。

○・・・

え、ここもさっき特別教室になるって。

○・・・

ここに新校舎を建てるとの間、神谷中学校の生徒さんはグラウンドを使えなくわけです
よね。そうしたら何か……。

○・・・

どっちにしろ使えないじゃないですか。

○・・・

どっちにしろ使えない、そこにプレハブを1回建てるとか、何かそういうプレハブ建
てて壊してとかって、何か順繰り順繰りやっていくとか、何かそうやって今決定事項を
覆すのはやっぱり難しいとか。

○事務局

グラウンドが使えなくなれば、北運動場をは借りていくということも。

○・・・

そこのマンションから言うと、今まで前が公園で、横が神谷中学校のグラウンドだったから、要は解放感みたいなのがあったところに、今度は2個も建つのかと思うと。

○・・・

そっち側の今の神谷中学校の前のほうにつくる、校舎を建てるというのはないですか。よくわからないですけど。

○・・・

新公園と、新校舎の二つを合わせて一つの新校舎をつくって、まだ目の前がグラウンドであれば、使えなくはなってしまうんですけど、その解放感という意味で、そういったところを出してもらえれば、こういう案はあるけどこうやれば、折衷案。確かにグラウンドもあるんだけど、目の前の公園はなくなってしまうけど、その分解放感、景観はその分保てますよとか、これだと公園は取りますけど、ちょっと目の前が解放感が、マンションにとっては考えますよと。そういう案を出して、それを議論してどうだっているんだったらわかるんですけど、決まりましたしかないので、ここにいるメンバーは、特にマンションに。そうじゃないと不信感しかない。

なので、基本的に今あるところに建ててもらえれば誰も困らないんです。今ある建物、校舎のところにもものが建つのであれば、今のところも新しくなる。これであれば、誰も文句は言わないじゃないですか、普通に考えて。それが高さができれば話は別だと思うんですけど、基本的に同じ高さで同程度のものが建てば、誰も文句は言わないとか。

○事務局

学校の建てかえがあるから、そういう話になると思うんですけども、今回小中一貫校をつくりたいという計画をそうすると、やはり学校のボリュームですね、多分校舎と体育館は建物の全体のボリュームでいくと、やっぱり1万、5,000平米ということになると思います。

○・・・

1万5,000平米というのは。

○事務局

ここですね、1万5,000平米前後ですね。

○・・・

それは平の面でいって。

○事務局

延床面積です。体育館とか含めて全部ですね。

○・・・

それがまず、それが狭いかよくわからないんだけど、それで説明されても何かちょっと。

○・・・

あいている土地の隣にいます。どいていただけないのかな。

○・・・

例えば今、あいている建物で新公園っていうところと、新校舎でその小中一貫校をつくって、今の神谷体育館のところとその特別何とかっていうのをつくって、今の校庭とかであれば、基本的に建物が建っているところで済むじゃないですか。そこに小中の建物がそこを合わせて、その新公園と、そこでもともと今の神谷中がこの敷地ですよ。なので、そこに小学校と中学校の建物を建てる。で、その今の新校舎、今の神谷体育館のところ建物を建てて、例えばそこにさっきのプレハブとか特別ルームをつくる。これだと小中一貫校のモデルは移していない。同じところにある。で、その先に校庭があるというのは、神谷小学校のところ校庭がある。

これであれば、今建っているところに建物が建つし。

○事務局

ここに公園を残したいということですか。

○・・・

はい。それでもいいと思います。

○事務局

この二つを考えると、公園が間に入るとそれはふさわしくない。

○・・・

でも、普通に遊んでますよね、普通に。学校のあとは。

○事務局

この辺まで移動するのに、この公園を歩いていくということですよ。

○・・・

いやいや、この建物を通るんです。さっき特別何とかをつくるのか、だから分離をす

ることはなくて、小中が一緒になっていればいいみたいな話をしていたので、だから要はそこにつくってあげれば。

○事務局

ここに大きな校舎をつくって、ここに……。

○・・・

今の神谷体育館のところにプレハブのものをつくっていただきたい。

○・・・

基本的に分断はされているじゃないですか、道路だ何だで特別室、体育館棟と行くには絶対道路を渡らないといけないんですから、どの道分断はされています。道幅といっても、そんなに広くないので、目の前に来ちゃうとあれかなって。

○・・・

そこの移動をするときとかに、例えば何十人とか何十人っていますよね。それで生徒が歩くわけですよね、そういったのは考慮されるんですか。

○事務局

建物が二つできますので、そこに接続する。渡り廊下をつくります。

○・・・

逆に、今公園が残ったままだと都合が悪っていうのは、なぜなんでしょうか。逆に、だつて上って公園が残ったままじゃないですか。横に公園があることは、何とか上好ましくないとか、でもとなりに残ったままになるじゃないですか、この案。違いますか。

○事務局

公園は、こちらに一体的な格好になりますよね。

○・・・

はい。これでいけば、だから、さっき公園がほかに何かあった案じゃなくて、同じですよ。ここが来て、プレハブがあつて、ここに公園があつて。そうすると公園があるのはだめだとか。

○事務局

まず、ここに校舎を配置した話になるんですけども、グラウンドは常に子どもたちが活動するところで、教師の目が行き届かないとまずいだろうということです。

ですから、逆にこっちのほうにできますと、ここで何か事故等があったときに、すぐに駆けつけることができないというのがあります。

○・・・

それが新校舎の、さっき言った神谷体育館のところにそういう予防策をするような建物とか、配置をすればいいんじゃないですか。

○事務局

これだと距離が生じてしまいますので、教員が移動するのに。

○・・・

いやいや、今ある神谷体育館のところに教員がいるような配置をすれば、やっぱりいいんじゃないですか、そういうことで。

○事務局

職員室をここに持ってくるということですか。

○・・・

はい。

○事務局

やはり、普通教室と接していないと、学校……。

○・・・

それは決まりなんですか。

○事務局

一番肝心なのがこの安全・安心の確保ですから、職員室と教室が離れているというのは。

○・・・

私たちにとっては、自分たちの住環境も大事なんです。恐らく教育者にとっては子どもの教育が大事。それはもう、わかっている。私たちも子どもがいるので、それ自体としては、でも改めて・・・するとここに住んでいるので、それも大事なんです、合わせて。同じくらい大事なんですよ。そこに優劣をつけられないです。なので、その間でどうにか折衷案を目指してやれないかということ、こちらは一生懸命案を提出しているのに、何も結局だめだ、だめだとかって言われても、逆にこちらから言わせると、この案自体はマンションからするとだめなんですよ。

○事務局

マンションの方からすれば、そもそもこういうところに建物が建つこと自体が非常に厳しいと。

○ . . .

厳しいと思いますよ、普通に考えて。厳しいと思わなかったんですか、逆に。

○事務局

当然そういうご意見が出てくるのは。

○ . . .

そうですね。なので、であればそれに対しての何かしらの案を出してほしいんです。

○ . . .

何かこう、プライバシーというか、例えばマンションの3階に住んでいる人からすれば、目の前に学校があって、見えちゃうわけじゃないですか、中から。逆にマンションからは学校の中も見えたりすると思うんですけど、そういうプライバシーとかは。

○事務局

当然それは配慮していかないといけないと思います。

これまでの学校改築でも、校舎側で何らかの対応をする等、配慮をする。

○ . . .

だから、そういう内容が知りたいんですよね。だから、例えばじゃあそういうのがわかって、質問受けるのがわかっているのであれば、これもほかの事例があるわけですよね。そういったのって、確認してここに臨んでいるんですか。それとも、そういうのはあるだろう、想定なんですか。具体的にどういうふうなのか。対策というか、そういうのはしてくれるのかっていうのが見えないですよね。

○事務局

ここは、まだ具体的に今の段階ではわかっていないので、そういったことも説明できませんので。

○ . . .

まず、そもそもレイアウト自体どうするか。この場ではこのレイアウト自体、まずきちんともう一度考えてほしいというのが、ここにいるメンバーの総意だと思うんです。

○事務局

そういったご要望が出たことは、受け止めて上の者に伝えておきます。

○ . . .

次の土曜日はまたあると思うので、そのときには上の方にも来ていただけるのか。で、これだけ議論して話にならなければ、上の人に来てもらって、うちらも話したいです。

○事務局

それを含めて相談します。

○・・・

次回その土曜日のときは、今ここで出たような質問のそれなりの回答とかもいただけると思っていますか。

○事務局

具体的に、ですから例えばそのレイアウトですね、もう一回ゼロから見直すとか、そういう形ではできないというふうに思っていますし、こういうレイアウトでやりますというのは、意思決定していますので、あとはですから、多分余り余地がないんじゃないかというご心配はあると思うんですけども、ここはご意見を聞きながらですね、可能な限り対応はしていきたいと思っています。

○・・・

配置が、この配置、建物の位置も変えられない。そのさっきの最終盤地帯で言ったのだから、そんなに間違っただけを言っていないかと思っただけ。

○事務局

多分、建築的にはできるんだと思うんですよ。・・・では。ただ、今お話し聞いている限りでは、やっぱり子どもの教育環境を考えるとふさわしくないというふうに思うんです。

○・・・

それは……。

○・・・

あのね、だめだよ。ちゃんと住民の人たちが言ったやつに対する、今のやつに対するきちんとした答弁ができないとだめだよ、わかる。言っていること。それは抽象的に子どもの教育だとかさ、それはもう理由なんだよ、一つは。だからそれをきちんと言って、言う以外ないよ。言わないでいっちゃったら、不協和音残すだけだよ。

だから、それはあなた責任があって、でも随分固くこれ以上、これを、これだけは守ってこいって言われてきてるの。この基本は守れってことだけきているの。それじゃあ、余りにもおろそかでしょうよ。だったら、それはやっぱりさ、受けて。それに対して受けて、この意見に対してはこうだ、この意見ではこういう無理があるんだっていうことを言って理解をいただくという、それは民主主義でしょう。なのに、始まりからそうならないんだから、みんな住民はそれを行政に対して不安感をもっともっと植えつけるようになるから、そこの努力はしていただきたい、それは。努力はしていただきたい。それで、残念ながらこれから幾つかやるんだと思うけれど、最初のマンションの人たちがかなり来ていただいて、喧々諤々になると思う。だから、それを含めて説明をす

る側が準備していただきたい。

きょうは何人か来て言っていたいているけど、これは大変だと思うんで、そういうことを念頭に入れて、こういう説明会をしていただかなかっただめだよ。そのように私は思うんですけど、皆さんどう思っているかよくわかんないです。

○事務局

きょういただいた質問に対しては、次回までに回答を出して、お示しします。

○・・・

次回までというのは、次回の説明会ということですか。

○事務局

土曜日と来週の日曜日ですね。

○・・・

でも、結論出ないですよ。

だって住人の人は、公園を潰してそこに建てるって聞いただけで拒否反応を起こします。自分がマンションを買うときはそういうことも考えて、子どもの遊び場がいいとか、自分のところから見える周りの景色だとか、そういうことも踏まえて買っているわけです、マンションを。だからいきなりここにマンションを建てますよ、マンションの前に建てますよって、それは気持ちはわかります。私は全部にかかわっているんで、どんな話にきょうなるのかなって興味があって見に来ただけなので。

やっぱりこれで決定ですって言われちゃうと、そこのマンションに住んでいる人は冗談じゃないよという、反対運動を起こしちゃうってというような気持ちになると思うんですよ。だから、もっと真摯に。どこまで決まっているか私知らないですけどね。聞いた話だと、議会もおって予算もある程度ついているとかという話は何となく。それもうわき話ですから、実際のところはわかりません。

だから、ここまではもう決まっちゃっているんですよっていうふうにするのか、それで住民を押し切っちゃうのか、もう一回元に戻して最初から近隣の人たちを入れて相談しながらやるのかっていうことだよ。

稲田小学校の跡地決まっていなかったけど、私稲田小学校の元PTA会長もやっていましたので、自分の出た学校だからね。なくしたくないんだよね、本当はね。自分の出た学校ですからね。だけど、いろんな意味から言ってそういうふうにしなくちゃいけないんだらば、なくなってもしょうがないかなっていう気持ちも少しあるんです。神中だって前の話すると、そうするとあれになっちゃうけれども、岩淵中学校と赤羽中学校に吸収合併されちゃうんです。私先頭を切って反対したものですから。で、今の小規模だけれども神中を残した。で、特色ある学校をやろうということで、農業体験のほうにたまたま校長先生、協力してくれる人たちがいて、我々も協力してそういうことに。

ここの後ろにあるんだけど、神中の元PTA会長だし、神小のPTA会長だし。今、青少年委員会の委員長もね、トップだし。そういう人たちの意見も入れながらやってい

かないと、やっぱりいきなりこうです、こうですって説明会しても、多分若い人はもっと納得しないしと思います。蛇足ですけど。

○事務局

繰り返しになりますけれども、次回の説明会までに先ほどいただいたご質問に対して、回答したいと思いますので、あとほかにかがでしょう。

それでは時間も過ぎましたので、いろいろご意見をありがとうございました。またよろしく願いいたします。